

# 産業の歴史をひもとく年代記 沖縄産業 クロニクル

県民の暮らしに密接に関わる  
さまざまな産業はどう始まった？  
その変遷と展望を紹介します。

監修・山内昌斗(専修大学経営学部教授)



## 可能性を秘めたIT産業

## 第9回 情報通信・IT編

官民挙げての取り組みにより、沖縄にIT産業が芽吹き、根づきつつあります。1990年代、世界的な規模でIT産業が成長しました。沖縄県は1998年に沖縄県マルチメディアアイランド構想を策定し、IT産業の育成に乗り出しました。2002年には、情報通信産業振興計画に基づいて那覇・浦添地区および名護・宜野座地区を情報通信産業特別地区に指定し、IT産業の更なる集積を図りました。

フトウェアやアプリの開発に成功し、沖縄から世界に通用する技術を生み出せることを証明しました。同時に、経営者らは県内外の企業や機関に呼びかけ、2007年にITfogs(現在の琉球fogs)を立ち上げ、産官学が連携して人材育成に取り組むようになりました。

関連産業の一大拠点として、うるま市・中城湾港新港地区に沖縄IT津梁パークが開設されました。リゾート地としての沖縄の魅力と先端IT技術の融合を図ることで、国際競争力のある新たな産業が創出されることが期待されています。さらに2016年には、高速・大容量・低価格を実現する光海底ケーブルが沖縄を

拠点に東京、香港、シンガポール間で接続されました。デジタル世界では、沖縄は四方を海に囲まれた孤島ではなく、アジアにつながる架け橋となっています。眼前に広がる世界にIT人材が飛び出す姿は、かつて大海原に船を繰り出し、琉球大交易時代を築いた先人たちの姿を思い起こさせます。



令和4年7月に策定、令和6年7月にKGI(重要目標達成指標)及びKPI(重要業績評価指標)を再設定した「おきなわSmart産業ビジョン」。産業と情報技術を掛け合わせ、経済成長と社会課題の解決を目指すことを目的としている(上はそのイメージ図)



県外から沖縄に立地したIT関連企業の推移

海外とも情報通信ネットワークを充実



沖縄県が提供する「沖縄国際情報通信ネットワーク」を活用し、県と首都圏、香港、シンガポール間で低価格かつ高品質なネットワークサービスが利用可能に



情報通信関連産業の一大拠点に

## 沖縄情報通信・IT年表

- 昭和**
  - 1959年 琉球電信電話公社設立
  - 1964年 日本本土と沖縄を結ぶマイクロ回線が開通
  - 1966年 (株)沖縄電子計算センター(現在の(株)オーシーシー)設立
  - 1973年 (株)琉球銀行電算部門が独立し、(株)リウム設立
  - 1978年 (株)創和リース(現在の(株)創和ビジネス・マシンス)設立
  - 1982年 沖縄県ソフトウェア産業振興協会(現在の(社)沖縄県情報産業協会)設立
  - 1987年 沖縄県ソフトウェア産業振興協会
- 平成**
  - 1991年 沖縄セルラー電話(株)設立
  - 1998年 沖縄県マルチメディアアイランド構想を策定
  - 1998年 (株)レキサス設立
  - 2002年 沖縄県情報通信産業振興計画を策定
  - 2007年 ITfogs(現在の琉球fogs)設立
  - 2009年 沖縄IT津梁パークを開設
  - 2012年 おきなわSmartHub構想策定
  - 2014年 沖縄クラウドネットワーク事業開始
  - 2015年 沖縄情報通信センター供用開始
  - 2016年 沖縄国際情報通信ネットワーク供用開始
  - 2018年 (財)沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO)を設立
- 令和**
  - 2020年 ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市(現ResorTech EXPO in Okinawa)開催
  - 2022年 おきなわSmart産業ビジョンを策定
  - 2022年 主要離島と沖縄本島を結ぶ光海底ケーブルの接続完了
  - 2023年 沖縄本島、石垣島、宮古島、久米島を結ぶ光海底ケーブルの共同整備事業完了

## 注目トピックス



### 3 IT・DXの展示商談会 ResorTech EXPO in OKINAWA

国内外の企業が集い、沖縄の全産業のDXと国内外へのビジネス創出推進を目的に、ITやDXに関する展示と商談を行う「ResorTech EXPO in OKINAWA」。2024年は11月14日~15日に沖縄アリーナで開催され、会場では自動運転やVR(バーチャル・リアリティ)など、技術の進化を見ることができました。毎年1万人規模の来場者で賑わう一大イベントです。



### 2 沖縄懇話会のなかから生まれた地域特化型企業 沖縄セルラー電話

1990年、沖縄の経済発展を願う県内外の人々により、沖縄懇話会が設立されました。その設立総会において、沖縄に本社を置く通信会社を創設するという画期的な構想が打ち出されました。沖縄で生まれた富を沖縄に還元し、多くの島々を抱える沖縄において地域格差なく情報通信サービスを提供することを目的に、沖縄セルラー電話が誕生しました。



### 1 未来を創る人財を育てる 琉球fogs

2007年設立の次世代リーダー発掘・育成プログラム「琉球fogs」。カエルを意味するfogsは蛙の言葉「井の中の蛙大海を知らず」に由来します。このプログラムでは、沖縄の学生たちに、テクノロジーを駆使した起業家や米国シリコンバレー、ヨーロッパなどのビジネスパーソンとの研修を通して世界に触れる機会を提供することで、起業家精神を育むことに努めています。

## AIの発展とIT業界の変化

2022年11月、米国OpenAI社が生成AI「ChatGPT」を公開したのを機に、AIへの関心が急速に高まりました。県内の企業や自治体でも、文章の作成(下書きや校正)、アイデアの発想(プレゼン概要、キャッチフレーズ)、プログラミングなど、業務の幅広い場面で、生成AIを活用する動きがみられます。AIは技術的にまだ発展段階にあり、リスクを懸念する声も少なくありません。しかし、メタバース、ロボット技術、自動運転など、AIの活用範囲は広がりを見せており、情報通信産業における新たな技術革新の動きとして、大きな注目を集めています。

